

施策評価シート

施策等名称	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	体系番号	0201020502
		主管課	スポーツ健康課

1 施策基本情報

現状と課題	成人の週1回以上のスポーツ実施率は30.2%(2016年度市民アンケート)で、全国42.5%(2016年度スポーツ庁調査)、県45.1%(2015年度長野県調査)と全国・県内的にみると下回っています。しかし、スポーツを必要だと思っている割合は79.3%となっています。スポーツが必要であると思っているのに、仕事や家事が忙しくスポーツができていない状況です。初心者向けの体験教室や高齢者が参加しやすい教室、スポーツが得意でなくても楽しめる、子どもと一緒に参加できるイベント等、それぞれの目的・ニーズにあったスポーツ活動が望まれています。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	市民誰もが、年齢、体力、技術、適性、興味・目的に応じて安全にスポーツに親しむことができる生涯スポーツ社会の実現に向けた取り組みが進んでいる

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	成年の週1回以上のスポーツ実施率	成年の週1回以上のスポーツ実施率(%)	30.20	40.00
②	コミュニティスポーツ教室年間参加者数	コミュニティスポーツ教室年間参加者数(人)	3,689	4,500	4,500
③					

施策の柱1	名称	ライフステージに応じたスポーツ活動等の推進	主管課	スポーツ健康課			
	詳細	スポーツ初心者や苦手意識のある人が参加しやすい機会の提供やきっかけづくりとして、いろいろなスポーツ教室の開催やイベントの充実を図る					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	市民総合体育大会参加者数	市総体参加者数	3,534	3,500 3,500	1 大会開催関連事業	実施
	2	生涯スポーツ健康講座数	開催講座数	9	9 9	2 スポーツ団体等支援事業	実施
	3	コミュニティスポーツ教室数	開催教室数	37	37 37	3 教室開催関連事業	実施
						4	
						5	
						6	
	基本政策間連携						

施策の体系	名称		主管課			
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
	2				2	
	3				3	
					4	
					5	
					6	
	基本政策間連携					

施策の柱3	名称		主管課			
	詳細					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分
	1				1	
	2				2	
	3				3	
					4	
					5	
					6	
	基本政策間連携					

施策等名称	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	体系番号	0201020502
		主管課	スポーツ健康課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	成年の週1回以上のスポーツ実施率	30.20	-	-	-	-	-
1		40.00	-	-	-	-	-
変動要因等	2018年度	市民アンケートは、5年に1度程度しか行わないため、実施率は不明					
	2019年度	市民アンケートは、5年に1度程度しか行わないため、実施率は不明					
	2020年度	市民アンケートは、5年に1度程度しか行わないため、実施率は不明					
	2021年度	市民アンケートは、5年に1度程度しか行わないため、実施率は不明					
	2022年度	市民アンケート実施の際に当該項目を設定しなかったため、実施率は不明					
施策	コミュニティスポーツ教室年間参加者数	3,689	3,051	2,702	1,014	692	898
2		4,500	67.80	60.04	22.53	15.38	19.96
変動要因等	2018年度	教室数の減少と参加者数の伸び悩みにより、年間参加者数の減少となった					
	2019年度	37教室、延べ254回開催。教室数は前年並だが、参加者数が伸びなかった。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室が中止となり参加者数が減った。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室が中止となり参加者数が減った。					
	2022年度	前年度よりは増加したが、コロナ禍以前と比較すると大幅減となっている。					
柱1	市民総合体育大会参加者数	3,534	3,835	3,748	-	544	945
1		3,500	109.57	107.09	-	15.54	27.00
変動要因等	2018年度	新加入協会による大会参加者の増加や陸上競技参加者増が寄与。					
	2019年度	前年並みの参加者があり、目標を達成できた。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため全競技中止。					
	2021年度	施設の閉鎖等があり、実施できた協会と実施できなかった協会がありました。					
	2022年度	一部の協会は実施したが、コロナ禍により実施できなかった協会が多く、コロナ禍以前と比較すると大幅減となっている。					
柱1	生涯スポーツ健康講座数	9	11	11	-	-	4
2		9	122.22	122.22	-	-	44.44
変動要因等	2018年度	健康講座と体力測定が1回づつ増やすことができたことにより、実施講座数が増加。					
	2019年度	前年と同様に講座を開催できたことにより、実施講座数を維持することができた。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。					
	2022年度	一部の講座が再開したが、コロナ禍以前と比較すると大幅減となっている。					
柱1	コミュニティスポーツ教室数	37	36	37	21	15	18
3		37	97.30	100.00	56.76	40.54	48.65
変動要因等	2018年度	ほぼ目標値の教室を開催することができた。					
	2019年度	スポーツリーダーの努力により、教室の開催数を増やすことができた。					
	2020年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室が延期や中止となり教室数が減った。					
	2021年度	新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室が延期や中止となり教室数が減った。					
	2022年度	前年度よりは増加したが、コロナ禍以前と比較すると大幅減となっている。					

施策等名称	ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	体系番号	0201020502
		主管課	スポーツ健康課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年(前年度比)		2019年(前年度比)		2020年(前年度比)		2021年(前年度比)		2022年(前年度比)	
投資額	事業費(円)	13,168,275		14,888,000	1.13	13,758,000	0.92	8,074,117	0.59	10,514,369	1.30
	うち一財(円)	10,643,275		11,153,000	1.05	9,892,000	0.89	7,901,617	0.80	10,117,369	1.28
	増減理由(一般財源前年度比±10%以上の場合に記載)					事業費の見直しにより、一財が減少した。		コロナ禍で、各種大会やコミュニティスポーツ教室が中止となったため。		スケートセンター営業開始日に小平奈緒交流イベントを開催したため。	
進捗評価		おおむね順調		おおむね順調		おおむね順調		やや遅れている		やや遅れている	
総合評価	主な取組内容や成果	親子運動教室やヨガ教室等の生涯スポーツ健康講座、各地区でスポーツリーダーが開催するコミュニティスポーツ教室の開催や支援を実施。生涯スポーツ健康講座では、健康づくりポイント事業との連携で新たな層の参加があった。		各地区でスポーツリーダーが開催するコミュニティスポーツ教室の開催や支援を実施。生涯スポーツ健康講座では、健康づくりポイント事業との連携で新たな層の参加があった。		新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、開催できた教室もあります。延期や中止が多かった。		各地区でスポーツリーダーがコロナ禍の中、工夫し教室を開催しました。		(R4・総括評価共通)スポーツリーダーが休会となる地区が出始めるなど、各種スポーツ教室が停滞傾向にある。	
	課題	一部の教室等では、マンネリ化や参加者が固定化している。スポーツに興味がなかったり苦手な市民が参加したくなるものや、ヨガなど体に負担のかからない体操などの教室が求められている。		例年通りの教室数は開催されているが、参加者数が減少していることから、参加したくなるような内容の教室を考えていかなくてはならない。また、固定化した参加者が高齢化し、新規参加者が増えていないことから、広く参加者を募っていかなければいけない。		コロナ禍での教室の開催方法や参加人数の調整などの検討。		コロナ禍での教室の開催方法や参加人数の調整などの検討。スポーツリーダーの新規加入者、教室への参加者の増加		(R4・総括評価共通)スポーツリーダーのなり手不足等によりコミュニティスポーツ教室が停滞している。スポーツから遠ざかっている層が参加したくなるような新規事業を計画する必要がある。	
改革・改善	改革・改善内容	教室終了時に実施希望種目のアンケートを行い、需要調査を行う。高齢者保険課や諏訪広域連合の介護予防講座・介護サービス事業との連携することで、今までスポーツに縁がなかった市民向けのアプローチを行う。		新規参加者を増やすために市民のニーズに応える講座の企画と、多くの市民に知ってもらうため市ホームページ、広報のほかに、マスコミを使つての参加募集を検討する。スポーツリーダーの新規加入者、教室への参加者の増加を目指し、現在スポーツを行っていない人でも気軽に参加できる機会を提供する。		コロナ禍での教室の開催方法や参加人数の調整などの検討。		コロナ禍での教室の開催方法や参加人数の調整などの検討。		コロナ禍も終息し、地域活動が再稼働してきている。地域スポーツ文化の裾野を拡大することを目指すとともに、市民の健康増進のためにスポーツから遠ざかっている層に向けた新規事業の計画を行う。	
	施策の柱等の重点化	重点化する施策の柱	1	1	1	1	1	1	1	1	
		重点事務事業	3	3	3	3	3	3	3	3	
理由	スポーツ実施率の向上には、今現在スポーツを実施していない市民や、スポーツ嫌いの市民へ直接働きかけることが重要。		スポーツ実施率の向上には、今現在スポーツを実施していない市民や、スポーツ嫌いの市民へ直接働きかけることが重要。		コロナが終息した際は、スポーツを実施していない市民や、スポーツ嫌いの市民へ直接働きかけることが重要。		スポーツを実施していない市民へ、体を動かすことの大切さを周知することが重要。		スポーツ実施率の向上には、今現在スポーツから遠ざかっている市民へ向けて、市民の身近な場所でスポーツに触れる機会を創出することが重要となる。		